

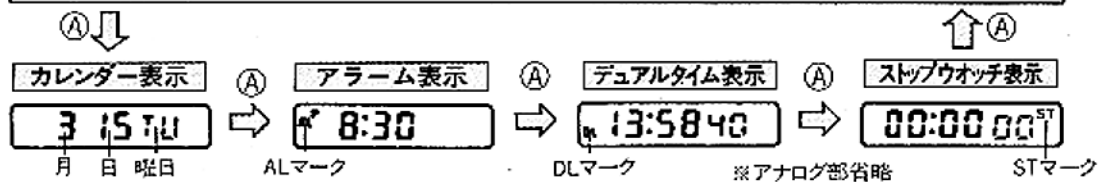
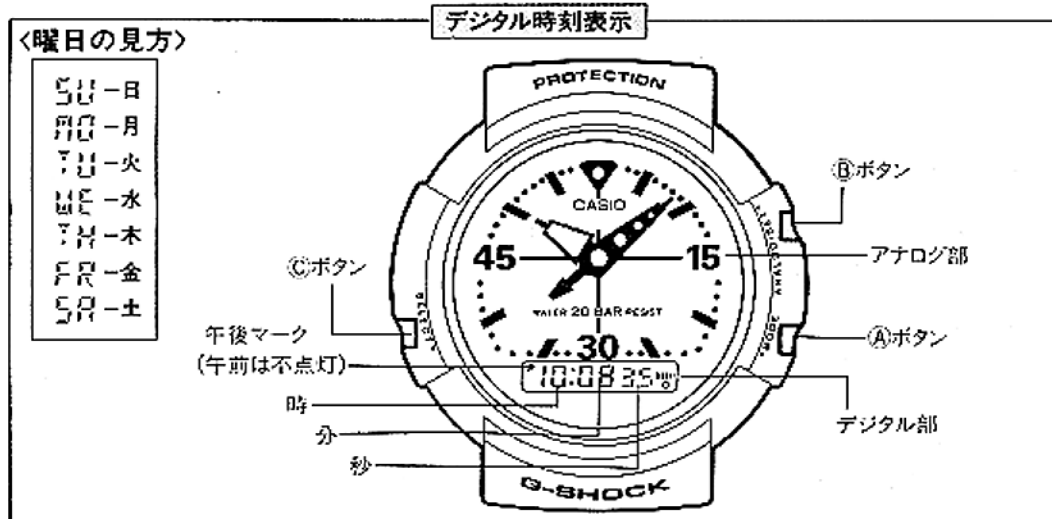
印刷物をスキャニングして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## 操作のしくみと表示の見方

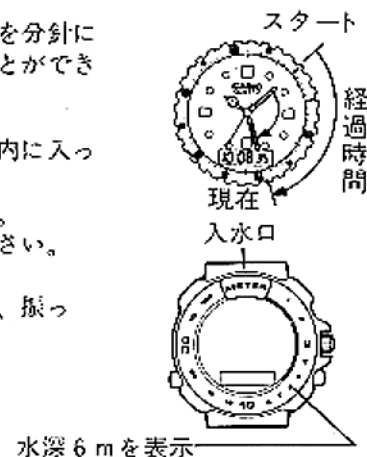
① ボタンを押すごとに以下の順でデジタル部の表示が切替わります。(押すごとに確認音が鳴ります。)



※詳しくは各機能の項目をご覧ください。①



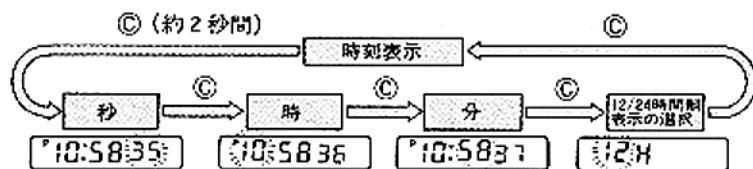
- 回転ベゼルのついているものは回転ベゼルを回し、▼マークを分針に合わせると、その位置をスタートとして、経過時間を知ることができます。
- 水深計つきの機種は、水に潜った時に、ベゼル部のチューブ内に入った水の先端の数字が水深(m)を示します。  
スキューバダイビングでの水深測定の日安としてご使用ください。  
※水深計には精度誤差がありますので、あらかじめご了承ください。  
(0m~10m未満……±2m、10m~100m……±20%)  
※チューブ内に水が残っている場合には更に誤差が出ますので、振ったり溢めて水を抜いてからご使用ください。  
(温める場合、60℃以上の高温はお避けください。)



印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## デジタル時刻のセットのしかた

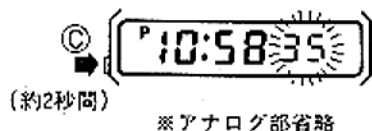
デジタル時刻表示のときCボタンを約2秒間押し続けると「秒」が点滅します。以後Cボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動します。



### ●秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

月に一度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと時計はいつも正確です。

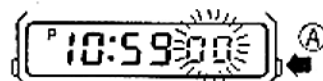
- (1)時刻表示のときCボタンを約2秒間押し続けると「秒」が点滅します。



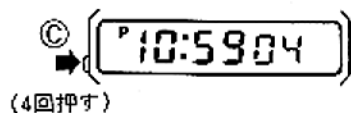
- (2)時報に合わせてAボタンを押すと「秒」が00からスタートします。

「秒」が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは1分くりあがって00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

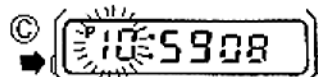


- (3)Cボタンを4回押すと点滅は止まり、時刻表示に戻ります。

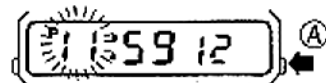


### ●時・分のセット

- (1)Cボタンを押して「時」を点滅させます。  
(上図参照)



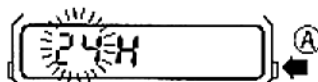
- (2)Aボタンを押すごとに「時」が1つずつ進みますので、合わせたい「時」にします。  
※押し続けると早送りができます。



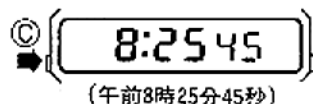
- (3)「時」を合わせたあとCボタンを押して「分」を点滅させます。「時」と同様にAボタンを押すごとに「分」が1つずつ進みますので、合わせたい「分」にします。  
※押し続けると早送りができます。



- (4)「分」を合わせたあとCボタンを押すと12時間制表示または24時間制表示を示す「12H」または「24H」が点滅します。Aボタンを押すごとに「12H」と「24H」が切替わりますので、お好みの表示を選択します。  
※「12H」を選択したとき、午後のみPマークが点灯します。



- (5)表示を選択したあとCボタンを押すと点滅は止まり、時刻表示に戻ります。



印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

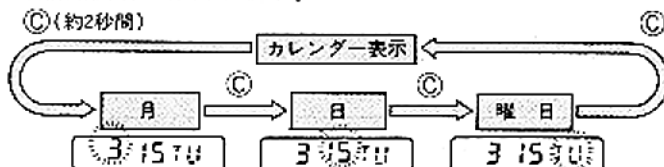
## アナログ時刻のセットのしかた

デジタル部がどの表示のときでも(B)ボタンを押すと1分(20秒)ずつ進み、押し続けると早送りができます。  
※分針はデジタル時刻の秒が0秒、20秒、40秒になったとき1分(20秒)ずつ進みます。

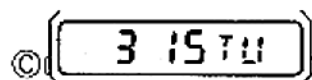


## カレンダーの合わせ方... 操作のしやすみにしたいが(A)ボタンを押してカレンダー表示にします。

カレンダー表示のとき(C)ボタンを約2秒間押し続けると「月」が点滅します。以後(C)ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動します。

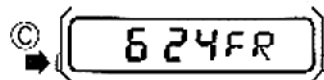
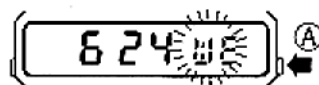


- (1) (C)ボタンを押して(約2秒間)「月」を点滅させます。このとき(A)ボタンを押すごとに「月」が1つずつ進みますので、合わせたい「月」にします。  
※押し続けると早送りができます。
- (2) 「月」を合わせたあと(C)ボタンを押して「日」を点滅させます。(A)ボタンを押すごとに「日」が1つずつ進みますので、合わせたい「日」にします。  
※押し続けると早送りができます。
- (3) 「日」を合わせたあと(C)ボタンを押して「曜日」を点滅させます。(A)ボタンを押すごとに「曜日」が1つずつ進みますので、合わせたい「曜日」にします。  
※押し続けると早送りができます。
- (4) 「曜日」のセットが終わったら(C)ボタンを押すと点滅は止まり、カレンダー表示に戻ります。



(3月15日 火曜日)

※アナログ部省略



(6月24日 金曜日)

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

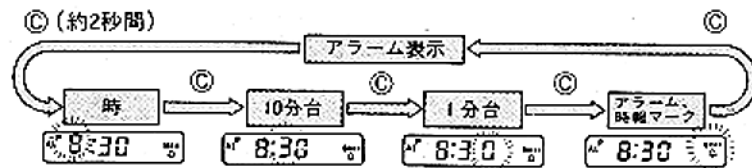
**アラームの使い方**..... 操作のしくみにしたいがAボタンを押してアラーム表示にします。

**確認** ◯ **AL** マークの点灯

アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間電子ブザーで知らせます。また毎正時(00分のとき)を“ピッピッ”と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。  
 ※いずれもデジタル時刻表示にしたい機能がします。  
 ※時刻表示を24時間制表示にしているときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。

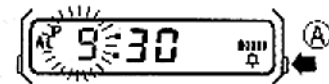
● **セットのしかた**

(1)アラーム表示のときCボタンを約2秒間押し続けると「時」が点滅します。以後Cボタンを押すごとに以下の順で点滅個所が移動します。



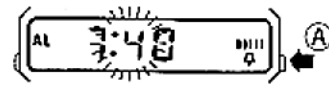
(2)「時」のセット

Cボタンを押して「時」を点滅させます。このときAボタンを押すごとに「時」が1つずつ進みますので、合わせたい「時」にします。  
 ※押し続けると早送りができます。  
 ※12時間制表示の午後のみPマークが点灯します。



(3)「10分台」「1分台」のセット

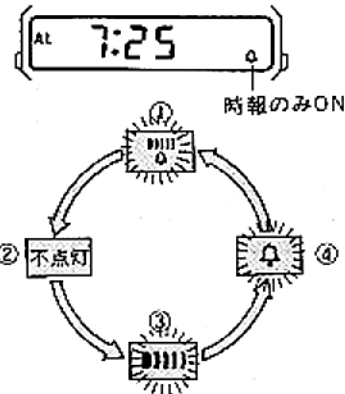
同様の操作で、Cボタンで「10分台」「1分台」を点滅させ、Aボタンで表示をセットします。



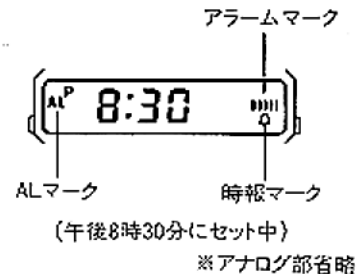
(4)「アラーム、時報のON/OFF」

アラーム時刻(時・分)をセットしたあと、Cボタンを押すとアラームマーク(■)時報マーク(□)が点滅します。このときAボタンを押すごとにアラームマーク、時報マークが以下の順で点灯、不点灯をくりかえします。マークが点灯しているときがONの状態です。

- ①アラームマーク、時報マークが点灯しているとき → アラーム、時報ともON
- ②アラームマーク、時報マークが消えているとき → アラーム、時報ともOFF
- ③アラームマークのみ点灯しているとき → アラームのみON
- ④時報マークのみ点灯しているとき → 時報のみON



**アラーム表示**



印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## デュアルタイムの使い方

操作のしやすさにしたがって(A)ボタンを押してデュアルタイム表示にします。

### 確認 □ DLマークの点灯

デュアルタイムはデジタル時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。(秒はデジタル時刻と連動) デジタル時刻とは別に12/24時間制を選択できますので、デジタル時刻を12時間制表示、デュアルタイムを24時間制表示にセットすることもできます。またアナログ時刻、デジタル時刻、デュアルタイムをそれぞれ別々の時刻にセットすれば3つの地域の時刻を表示することもできます。

#### ●セットのしかた

(1)デュアルタイム表示のとき

◎ボタンを約2秒間押し続けると「時」が点滅します。以後◎ボタンを押すごとに右の順で点滅箇所が移動します。

(2)◎ボタンを押して「時」を点滅させます。このとき(A)ボタンを押すごとに「時」が1つずつ進みますので、合わせたい「時」にします。

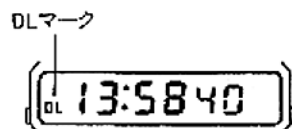
※押し続けると早送りができます。  
※12時間制表示の午後のみPマークが点灯します。

(3)同様の操作で◎ボタンで「分」を点滅させ、(A)ボタンで表示をセットします。

(4)「分」を合わせたあと◎ボタンを押すと12時間制表示または24時間制表示を示す「12H」または「24H」が点滅します。(A)ボタンを押すごとに「12H」と「24H」が切替わりますので、お好みの表示を選択します。

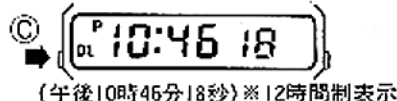
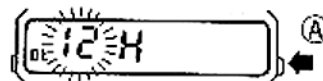
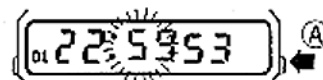
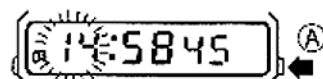
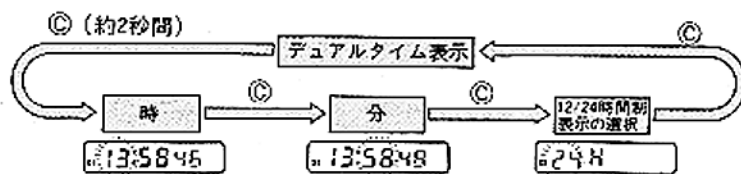
(5)表示を選択したあと◎ボタンを押すと点滅は止まり、デュアルタイム表示に戻ります。

### デュアルタイム表示



(13時58分40秒)  
※24時間制で表示

※アナログ部省略



(午後10時46分18秒) ※12時間制表示

## ストップウォッチの使い方

操作のしやすさにしたがって(A)ボタンを押してストップウォッチ表示にします。

### 確認 □ STマークの点灯

ストップウォッチは1/100秒の計測単位で59分59秒99まで計測でき(60分計)、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

★計測のしかた……◎ボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。

- ・スタート
- ・ストップ
- ・リセット

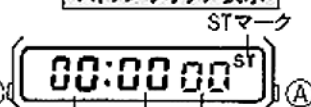
〈スタート〉 ◎ボタンを押す

〈ストップ〉 ◎ボタンを押す

(約2秒間押し続けるとリセット(表示0)されます。)

※ロスタイムのある場合にはストップ後、再スタート(◎ボタンを押す)すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

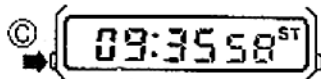
### ストップウォッチ表示



分 秒 1/100秒

(リセット状態)

※アナログ部省略



(9分35秒58)